

改革推進本部名	各部入賞区分
協働推進部	代表

※ 各部入賞区分は、各部代表提案は「代表」、努力提案は「○」、キラリ賞推薦提案は「キラリ」と書く。

## 平成30年度 改善実績提案報告書

<b>提案名</b>	校区コミュニティ組織との協働による避難所運営		
<b>所属</b> (課名とチーム名・グループ名)	協働推進部 地域コミュニティ課 校区コミュニティ組織チーム 都市建設部防災対策課 防災チーム	<b>代表者</b>	校区コミュニティ組織チーム チームリーダー 古賀 信夫 【入庁22年目】
<b>ココが変わった！！ 改善内容</b>			
こんな問題がありました【改善前の問題点】		こう変えました【改善による変更点】	
① 地震や急な豪雨などにより、緊急に避難所を開設する必要がある場合に、道路冠水により、鍵の受け渡しが遅れることがあった。 ② 避難所従事職員が、施設に慣れていない場合があった。 ③ 避難所は、市職員を2名ずつ配置して運営していたが、大規模災害時など長期に避難所を開設する場合に配置する職員の確保が困難であった。		○校区コミュニティ組織に対して、避難所開設・運営を市と協働で行うこととした。 ○対象施設 校区コミュニティセンター等22施設 ○運営体制 実施可能な校区より「市職員1名+校区1名」 (現行、市職員2名)	
<b>アピールポイント【改善による効果】</b>			
<b>提案ジャンル</b> (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 連携・協働による成果 <input checked="" type="checkbox"/> 収入増・コスト削減 <input type="checkbox"/> 事務の正確化・効率化 <input type="checkbox"/> 市の魅力向上 <input type="checkbox"/> 安全性の向上 <input type="checkbox"/> 職場の雰囲気向上 <input type="checkbox"/> その他( )	<b>改善の視点(一つを選択)</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 集約化 <input type="checkbox"/> 共有化 <input type="checkbox"/> ICT化 <input checked="" type="checkbox"/> その他( )	○迅速な避難所開設や円滑な運営 校区から1名従事のため ・急な豪雨の際など緊急に避難所を開設する際にも、迅速に対応できるようになった。 ・地域の事情や設備の使用方法を熟知している者が対応にあたることにより、これまで以上に円滑な避難所運営ができるようになった。 ○地域との連携強化と地域の防災意識の向上 校区と市で避難所を協働運営することで、お互いの状況もわかり、これまで以上に連携が強まり、地域の防災意識の向上にも繋がった。 ○市職員の災害対応業務等への従事体制の強化 大規模災害時など多くの職員の対応が必要な際に、避難所運営以外の本来業務や災害対応業務へ市職員が従事できる体制を整えることができた。
	<b>【数字でみる効果】</b>	コストの削減、歳入の増等(円/年)、利用者等の増等(人/年)、省力化(時間/年)など —	

※スペースが足りない場合には、添付資料(A4版1枚まで)を付けてください。

### 所属長からの推薦コメント

この取り組みは、協働推進部だけでなく、都市建設部、教育部、子ども未来部とも連携したうえで校区コミュニティ組織との協働により、避難所の迅速な開設や運営、地域との連携強化、地域の防災意識向上、市の人的負担等を軽減できる取り組みである。

【所属長氏名 古賀 浩樹】